



Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 95

令和6年9月6日

今月のキーワード

下野市英語指導者研修会、しもつけイングリッシュサマーキャンプ

令和6年度 第1回下野市英語指導者研修会

8月9日（金）に、「令和6年度 第1回下野市英語指導者研修会」を開催しました。文部科学省 国立教育政策研究所学力調査官 贄田 悠 様を講師にお迎えし、オンラインで研修を行いました。「外国語教育における小中連携」と「デジタル教科書の活用」についてご講話をいただきました。

★小学校外国語と中学校外国語の主な共通点・相違点★

		小学校	中学校
共通点		言語活動を通して資質・能力を育成する	
相違点	英語の特徴やきまりに関する事項	音声/文字及び符号/語、連語及び慣用表現/文及び文構造（語順）	音声/符号/語、連語及び慣用表現/文、文構造及び 文法事項
	領域	聞く・話す > 読む・書く ※聞く・話すを重視	聞く・話す・読む・書く ※バランスよく
	授業時数	年間70時間（週2時間）	年間140時間（週4時間）
	読むこと・書くこととの指導の在り方	音声で慣れ親しんだものを視覚化 ※音声から文字へ	読むこと・書くことを通して、音声で不確かだったものをより正確に

（贄田学力調査官 講話資料より）

★小中連携のポイント★

【子供たちの「学びの経験」を生かす視点】

- ① **what** 「何を」学んできたか
- ② **how** 「どのように」学んできたか

2つの視点を大切にして、育てたい子供の姿を中学校区で共有したり、小中学校でどのような言語活動を行っているか情報交換を行ったりすることも有効です。また、成果物の交流を行うことも小中連携につながります。

★学習者用デジタル教科書活用のポイント★

デジタル教科書を活用することで、様々な英文のリーディングに慣れ親しみ、児童生徒が主体的に学習に取り組むことができます。紙の教科書とデジタル教科書を選ばせるなど、**読む目的を明確にした上で**、学習者に委ねることが大切です。デジタル教科書の活用は、個別最適な学びを実現する上でも効果的です。

第2回下野市英語指導者研修会（学校会場研修）
・令和7年1月21日（火）会場：古山小学校
（講師：東京家政大学 太田 洋 教授）



Shimotsuke English Summer Camp

7月26日（土）に、下野市市民活動センター「しもぷら」において、「しもつけイングリッシュサマーキャンプ」を開催しました。市内小学校・義務教育学校4～6年生の児童30名が参加し、英語を使って市内に勤務しているALTの先生方と一緒に交流を図りました。グループごとに5か国のブースを回り、ゲームやクイズ、ダンスなど、各国の様々な体験活動を行いました。活動の様子を紹介します。

★ ワールドツアー “Travel Around the World” ★



Opening ceremony



America



Brazil



Jamaica



Philippines



UK

★参加者の感想★

- 最初は、不安な気持ちでいっぱいでしたが、優しいALTの先生やいろいろな学校の仲間に支えられながら、楽しく活動することができました。また、参加したいです。
- いろいろな国の文化を知ることができ、とてもよい経験になりました。新しい友達と出会い、英語をたくさん話すことができ、うれしかったです。

下野市では、外国語・国際理解教育の推進に向けて、今後も様々な活動に取り組んでいきます。引き続き、よろしくお願いいたします。

